※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０３６

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	言語文化	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	「言語文化」　（大修館書店）						
副教材等	「つながる・まとまる古文単語 500PLUS」（いいずな書店）、 「読解をたいせつにする　体系古典文法　九訂版」（数研出版）、 「読解をたいせつにする　体系古典文法ワーク　《七訂版》」（数研出版）、 「四訂版　読解をたいせつにする　体系古典文法準拠ノート」（数研出版）、 「三訂版　プログレス＜読解・構図・鑑賞＞古典総演習・基本編」（いいずな書店）、 「知識から文脈へ　理解を深める　精説漢文　改訂版」（いいずな書店）、 「知識から文脈へ　理解を深める　精説漢文　改訂版　定着ノート」（いいずな書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、時期で言えば、約二千年前の作品から現代の作品に至るまで、随筆、小説、短歌、和歌、漢詩などの作品を読みます。

①まず作品を楽しみましょう。自分の中の好奇心を育てましょう。

②現代の我々を取り巻く文化は、先人が伝えてきた、「人間や自然をどう捉えるか、どう生きるか」という視点の影響を受けていることを、作品を読むことを通して感じましょう。

③筆者、級友、教員などの他者の考え、自分とは異なる考えに耳を傾けましょう。

④魅力ある作品を読み、鑑賞し、筆者、級友、教員など他者の捉え方に耳を傾けることで、自らの内面を豊かに耕し、生きていく糧の１つを手にしてほしいと考えています。

２　学習の到達目標

・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期中間考査	古文に親しむ ［教材］ 児のそら寝、絵仏師良秀（宇治拾遺物語） 阿蘇の史、盗人にあひてのがるること（今昔物語集）	a：古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり評論したりする活動 c：説話文学に興味を持ち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取ろうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	漢文に親しむ ［教材］ 論語 孟子	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[書]：文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。 c：『論語』『孟子』に興味をもち、現代に生きている言葉や考え方について理解しようとしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	現代に生きる言葉 ［教材］ 蛇足	a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。 b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：故事成語の内容や文化的背景に興味を持ち、学習したことを普段の生活の中に生かそうとする。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
前期期末	想いを表す言葉〈一〉 ［教材］ 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集	a：本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 c：和歌に興味をもち、歌人やその時代の背景に興味をもち、自分なりの解釈を行おうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	人との交わり ［教材］ 芥川、あづま下り、筒井筒（伊勢物語）	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、歌に込められた登場人物の思いを捉えようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	想いを表す言葉〈二〉 ［教材］ 静夜思（李白） 送元二使安西（王維） 月夜（杜甫） 香炉峰下（白居易）	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[書]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、表現している。 c：唐詩に興味を持ち、作者のものの見方、感じ方を読み味わおうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

後期中間	言葉の紡ぐ世界 ［教材］ 羅生門（芥川龍之介）	a：我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 c：言葉がもつ価値への認識を深め，言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	語り継がれる歴史 ［教材］ 木曽の最期（平家物語）	a：言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めること。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c：作品に興味をもち、独特のリズムをもつ文体を味わおうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	現代に生きる言葉 ［教材］ 鶏鳴狗盗（曽先之）	a：言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めること。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c：作品に興味をもち、独特のリズムをもつ文体を味わおうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
後期期末	旅と人生 ［教材］ 門出（土佐日記） あこがれ（更級日記）	a：古典の世界に親しむために，作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 c：作品に興味をもち、独特のリズムをもつ文体を味わおうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	文学と社会 ［教材］ 雑説（韓愈）	a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、内容の解釈を深めている。 c：言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	文学と人生 ［教材］ セメント樽の中の手紙（葉山嘉樹）	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、内容の解釈を深めている。 c：作品に興味をもち、時代背景と登場人物との関係を理解したり、会話文や手紙から登場人物の状況や心情を理解する学習に、意欲的に取り組んだりしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・書くこと　…　（　１５　）時間

・読むこと　…　（　９０　）時間